

## 入選

### 大切な水

人の約五十％～七十％は水です。そして、人間は水を飲まなければ三日で死ぬと言われていきます。それほどまでに人間の生活に欠かすことのできない水ですが、今、その水が大変なことになっているというところが冬にテレビでやっていたので、興味をもち、書いてみることにしました。

まず、地球の七十％は水です。地球には海が広がっていて、それで、かの有名なユーリイ・ガガーリンは、人類で初めて宇宙に行った時に、「地球は青かった。」と言っていました。そんな海の水、海水は、人間には飲むことができません。塩分が含まれているからです。その海水は地球の水のうちの九十％をしめています。そして海水を除いた三分の二の水も凍っていたり、地中に埋まっています、簡単には使えないのです。そのことを知って、僕は、おど

ろきと、強いショックを受けました。水なんていくらでもあるし、海はなくならないし、と今まで、気軽に使っていた水が、重く大切なものだと気づきました。そして、さらに調べてみると、僕たちが使える水は次第に減っていつてしまうと書かれています。それを見て、僕は、今のままでいいのだろうか。いや、水への認識を変えるのは今だと思ひ、水を見つめ直すことにしました。

まず、日ごろ使っている水のむだな所はないかを考えてみることにしました。考えてみるとたくさんもつたいたない所があることが分かりました。たとえば、朝、顔を洗うときです。起きてすぐだと、ポットとしていて、つい水を出しっぱなしにしてしまうことがあります。歯みがきの時にも、テレビやスマホについてい目がいって、水が出しっぱなしにな

ることもあります。なので、僕は、意識を変えることにします。この水は将来、地球がすみやすい環境でいられるようにするための第一歩だと思って水を使います。

次に、水の出しっぱなしで、週にどれくらいの量を使うのか考えてみました。歯みがきで三十秒出しっぱなしにすると約六リットルもの水がむだになります。ということは、六リットル×七日間で約四十二リットルが、一週間でむだになります。これを約千人がむだにすると考えると、とても大変なことが分かります。ですが、逆に考えてみると、その出しっ放しを防ぐだけでも、大切な水が、四万二千リットルも節約できるのです。ちりもつもれば山となるということわざがありますが、少しの努力で、こんなにも変わると知っておどろきました。コツコツと、少しの意識で、世界を、地球を変えることができるのではないかと思っています。

今回、水について考えて思ったことは、みんなで協力してつみ重ねていくことの大切さです。一人一人が小さなことを意識して、初めて、水がよりよく

使われていくのではないかなと思いました。そこで僕は、周りがやらないから自分でもやらないのではなく、まず自分から変わっていかうと思いました。このことは、日ごろの生活や部活動でも大事なことだと教わっています。人を動かしたければ、まず自分が動く。何かをしたければ、まず、率先して動く。このことが今の地球を支えることだと思っています。具体的な方法については、こまめに水をとめて、必要になったらすばやく使う。お風呂の水を別のものにも活用するなど、自宅ですぐに実行できることを、コツコツやるなどです。まずは、簡単にできることを自分から忘れずに行って、一つ一つ、つみ重ねていこうと思えました。それから、周りの人と協力して、地域や国、地球全体で一丸となつてこの問題をいっしょに考えていけばよいのではないかと考えました。

これを書いて、水に対する見方が変わりました。大切に、今ある水を使っていこうと思いました。